

令和元年8月28日（水）

第8回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和元年8月28日(水)午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委員 豊島 秀範
委員 長谷川浩子 委員 足立 俊弘
委員 蒲田 知子
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 丸 智彦 生涯学習部長 木下登志子
生涯学習部次長兼生涯学習課長兼生涯学習センター長兼公民館長 菊地 統
総務課長 森田康宏 学校教育課長 榊原憲樹
指導課長兼小中一貫教育推進室長兼少年センター長 戸塚美由紀
教育研究所長 遠藤美香 学校教育課主幹 藤岡宏子
学校教育課主幹 岡田一男 文化・スポーツ課長 小林由紀夫
鳥の博物館長 斉藤安行 図書館長 櫻井 實
文化・スポーツ課主幹兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
6. 欠席事務局職員 な し

午後 2 時 0 0 分開会

○倉部教育長 ただいまから令和元年第 8 回定例教育委員会を開会いたします。

会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、会議録署名委員を指名します。豊島委員にお願いします。

諸 報 告

○倉部教育長 日程第 2、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項をお願いします。机上に配付された資料についての説明を求めたいと思います。

まず初めに、「つなぐ・むすぶ日本と世界のアート」について、辻文化・スポーツ課主幹、お願いします。

○辻文化・スポーツ課主幹 御説明いたします。ICOM（国際博物館会議）が京都で開かれるのを記念して、「CONTACT つなぐ・むすぶ日本と世界のアート展」が開催されます。この ICOM の会員でいらっしゃる作家の原田マハさんは、先日、直木賞の候補作として『美しき愚かものたちのタブロー』という本で、残念ながら受賞を逃してしまったのですが、我孫子も舞台とした『リーチ先生』という小説を書かれていらっしゃる方で、2年ほど前に白樺文学館においでになったときに白樺の創刊号等を見ていらして、それが恐らく記憶に残っていらしたのでしょう。今回のこの展示に際して、白樺文学館から白樺の創刊号とロダン作の『鼻のつぶれた男』という胸像をぜひ貸してほしいという話がありました。今回 8 日間という非常に限られた展示なのですが、こちらに白樺文学館のものが出展されるという栄誉を得ました。会場は京都の清水寺で

す。その国宝にもなっています成就院という建物の中で、アートと国宝の出会いというコラボ展示を仕掛けるということで展示されることになりました。場所は京都なのですが、私は行く予定です。

○倉部教育長 ありがとうございます。ただいまの説明について、何か御質問、御意見等ありますでしょうか。

ちょうどこの時期に開催というのは、なかなか厳しいところがありますけれども、ぜひ辻主幹には代表して、会場の雰囲気とか原田さんとかかかわりを深めていただければいいかなと思っています。『リーチ先生』の関係でつながりを持たせていただいて、さらに、今回出品したものに「我孫子市」という名前が載りますので、そういうものも含めてさらに広がっていただければいいかなと思っています。辻主幹には、展示会を見に行った後の御報告も次回ぐらいにはしていただけたらと思っています。

何か、御意見、御質問等よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、それでは続きまして、もう1点の「まつど生涯学習フォーラム」について、生涯学習課長、お願いします。

○菊地生涯学習部次長 お手元に「まつど生涯学習フォーラム～人生100時代、これからの生涯学習～」というタイトルのチラシを配付させていただきました。こちらは、松戸市の教育委員会生涯学習課と東葛飾地区公民館連絡協議会との共催事業になっております。

東葛飾地区公民館連絡協議会は、我孫子を含めて近隣の東葛地域の公民館が定期的集まって、情報交換、勉強会、講演会等を開催しているものでございます。こちらと松戸市で共催を行っております。

当日は、東北大学の脳トレで有名な川島隆太先生の記念講演会とシンポジウムを開催する予定です。会場は、松戸市民会館ホールで1,000人入れる

ということなのですが、現状、500人程度ということでございますので、まだまだ入れるスペースがあります。特に申し込みは不要ということでございますので、もし御興味があれば御参加いただければと思います。9月19日がちょうど私ども議会の最中でございますので、職員はなかなか見に行くことはできないのですけれども、皆様方の中で、もし御都合がつくようであれば、ぜひ参加していただければと思います。

○倉部教育長 ありがとうございます。ただいまの報告について、何か御質問、御意見等があれば。

9月19日は予算委員会なものですから、私どもはなかなか行くことができませんので、ぜひ積極的に行っていただければと思います。——特によろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 それでは、2件についての御意見、御質問を打ち切りたいと思います。

それでは、事務報告に対する質疑に入ります。御質問があれば、これを許します。

○長谷川委員 5ページの指導課の1番の「街頭指導(定例)」のところで、この報告期間中に5カ所で行われたお祭りのパトロールに御参加いただきました少年指導員の方及び少年センターの担当者さんたち、お忙しい中ありがとうございました。

報告のほうに事件・事故の報告はないようにも見えますが、八坂神社のほうで気になる部分が2カ所、「手賀沼公園内の街灯が切れているところがある。」ことと、あと「テニスコート側のトイレ周りの樹木等が伸びていて街灯を覆っているためかトイレの周りが薄暗い。」ことが書かれているのですけれども、こちらは担当の部署や課の方に報告はされたのでしょうか。

○戸塚指導課長 私もこの日に一緒に回りまして、やはり樹木が伸びていて、せっかく電灯がついているのに薄暗い状況になっていたところ等がありましたので、公園緑地課へこういう状況なので対応してほしいと、すぐ連絡をいたしました。

○長谷川委員 ありがとうございます。気がついていただけることで予防、防止になるかと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。

○蒲田委員 18ページにある鳥の博物館「夏の遊びと研究大集合2019」が今年も開催されています。たまたま大学生の市民スタッフの方とお話しをする機会があり、そのときの学生さんが、大学の先生を通して市民スタッフの募集を知り、夏休みなので、市原市から来て、3～4回参加しますとおっしゃっていました。本当に熱心な方で、本人自身が「自然史系ではないけれども、学芸員として働きたいという気持ちがあります。博物館経営も勉強しています。」とおっしゃっていました。いろいろな博物館の研究員の方が講師をしていたりして、ただイベント的に大集合しているわけではなく、教育がある、それが素晴らしいということを学生さんが自ら話をしてくれました。鳥の博物館は、参加者を集めることももちろん大切にはしていますが、それだけではなくて教育普及の部分はどうするか。興味を持ってもらいながら、だけでも教育の部分をお忘れなさいということをお若い学生さんがきちんと見てくれたということでもとてもうれしく思いましたので、ここでお話をさせていただきました。以上です。

○倉部教育長 御意見を求めたほうがよろしいですか。

○斉藤鳥の博物館長 しっかりとご覧になっていただきまして、ありがとうございます。博物館のイベントも、ただやればよいというものではなく、おっしゃっていただいたように教育普及的な内容を含み、将来的には自然に興味を持

って理解を深めてもらえるようなテーマを選んでいきます。

また、夏休みは人手が必要なので、学生ボランティアを市民スタッフとして募集しています。事前に研修をして、来館者に対する対応の仕方などを職員がレクチャーしてからやってもらうという形をとっております。今のところそれが参加してくれるボランティアの方にとっても、プラスになっているというお話をお聞きまして、大変よかったですと思います。今後もこのような形で続けていければと思います。ありがとうございます。

○倉部教育長 引き続き、よろしく申し上げます。

ほかに事務報告についていかがでしょうか。——よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 それではないようですので、事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について、質疑があればこれを許します。

今月は定型的なものが多いせいか、余り新しいものがないのですが、1つだけ、少年センターの5ページの「第50回千葉県青少年補導(委)員大会」が、たまたま我孫子市が会場となるということで、わかる範囲で結構ですので、概要を説明いただけますでしょうか。

○戸塚少年センター長 5ページの「第50回千葉県青少年補導(委)員大会」です。全部で19市がこれに所属していますが、そのうちの2市は、大会にいつも参加をしていなくて、17市が持ち回りで1年ごとに場所を変えて大会を行っております。我孫子市で言う「少年指導員」、ほかで言う「補導員」という言い方をしていたりするのですが、我孫子市の少年指導員の方のように、日ごろより子供たちの見守りをしている、パトロールをしている人たちの大会になります。今年は、我孫子市が担当市となりまして、大会を行います。

内容としてはそちらにあります。20年以上そういう活動をなさって今回

ちょうどお辞めになる方や10年以上そういう活動している方に対して表彰状や感謝状の贈呈があったり、県の警察本部の方や来賓の方から御挨拶いただいたりします。

その中で、今年は、我孫子市が担当市なので、どんなふうにごろパトロールをしているか我孫子市の状況についての事例発表や全国で講演をされている元警察官の星先生をお呼びしまして、地域での子供の見守りについて記念講演をいただいて、約2時間、大会が行われるということです。

○倉部教育長 この会場の中で聞くことは可能だと思いますので、もし御興味があれば、ぜひご参加ください。

ほかに何か質問等ありますでしょうか。

○長谷川委員 13ページの文化・スポーツ課の2番の「チバミュージアムフェスタ2020～千葉県立美術館・博物館展覧会～パネル展」で、これは展示だけの企画になってしまうのでしょうか。何か講演会等も企画されているのでしょうか。

○辻文化・スポーツ課主幹 こちらは、千葉県もオリンピックの会場になるので、その機運を盛り上げたいということで、県立美術館・博物館が所蔵しているオリンピック関係のポスターとかさまざまなもの巡回して貸しますという提案がありました。たまたまその時期に、10月まで杉村楚人冠記念館で幻の東京オリンピックで手賀沼ボート会場案があったという展示を行っているのですが、それと連携できる内容でもありますので、こちらにつきましてはパネル展のみという形になりますが、できれば杉村楚人冠記念館に足を運んでくださいという連携した内容になっております。

○長谷川委員 わかりました。杉村楚人冠記念館のPRをするというふうになっていたので、そこら辺はどういう形でPRされていくのですか。

○辻文化・スポーツ課主幹 なかなかその辺は難しいところは正直あるのです

けれども、県にあるものというのが、前回の東京オリンピックのものが中心なので、杉村楚人冠記念館にあるものについては、さらにその前の1940年になりますので、直接結びつきというところでは薄いのですが、同じ千葉が会場になるというところでの協調というところではあります。

○倉部教育長 先日、私も同じ日に見に行ったのですが、おもしろいです。せっかく行くならば学芸員の説明を聞いてほしいなと思います。彼らは非常に研究をした上で展示をしていますので、書かれていないこととか、その経過を全部説明してくれます。やはりおもしろかったのは、昔から我孫子に住んでいらっしゃる方はわかるのですが、手賀沼がオリンピックにどうかかわっているか、漕艇場の関係ですね。戸田には破れてしまいましたけれども、戸田と並ぶぐらいに、どちらかというところだと嘉納治五郎は手賀沼を推していたようなのですが、そういう節があるとか、それからその後のいろいろな経過があって、手賀沼という言葉が再三出てくる。そういうことをちゃんと展示の中で、それから説明の中でもありますので、その辺をご覧いただいたうえで、この県の展示を見ると、もっとおもしろいかなと思いますので、ぜひ先に、杉村楚人冠記念館をご覧いただければと思います。行くときには、声をかけていただいて学芸員の説明を本当に聞いてください。市の学芸員は本当に勉強熱心でおもしろいです。一味も二味も違いますので。

ほかにいかがでしょうか。

私からもう1点だけ。11ページ、10番の「アビコなんでも学び隊」の「高校生とジョイント」という部分がなかなかないかなと思いますので、その辺も含めて、これについて説明いただければと思いますけれども。

○菊地生涯学習部次長 「アビコなんでも学び隊」というのは、主に夏休み期間であるとか、そういったときに行っているのですが、それ以外にも土曜日とか日曜日に、子供たちを中心としたこのような講座等を開催しております。単

発の事業です。全16回のうちの12回目ということで、今回の「粉をこねてピザを作ろう！」というのは、我孫子高校の中に、家庭クラブのようなものがありまして、クラブの顧問をやっていらっしゃる先生に、毎年、こちらのほうからお願いをしています。子供たちに、このくらいの時間の中で簡単にできるものということで、昨年度と同様、今年度もピザ作りのお話をいただきました。そのクラブの子たちに協力してもらい、大体5人か6人ぐらい来ていただいて、子供たちと一緒にピザを作ってもらっています。子供たちも先生と生徒という形ではなくて、お姉さんたちと一緒にやるということで、大変好評をいただいております。特に女の子は、おうちでつくってみたい、食べさせてあげたいということで、毎年好評をいただいております。今年度もこのような形で9月28日に実施する予定です。

○倉部教育長 いろいろな高校生を巻き込んでの催し物というのは、なかなか今までなかったもので、ぜひ積極的にこういう巻き込み方をしていただければいいかなと思います。大学生は巻き込めないですか。川村学園女子大学はいかがでしょうかね。

○菊地生涯学習部次長 昨年度も行いましたが、川村学園につきましても、「時短激ウマ料理」というのをやりまして、大学の先生から調理の指導をいただきながら、生徒さんに協力をいただきました。今年度につきましても、中央学院大学ともロケットストーブの関係で、この次に開催する災害のためのストーブづくりであるとか、そういったことも各種大学と協力して実施してきておりますので、またそのときに御報告させていただきます。

○倉部教育長 よろしくお願ひします。

ほかに事務進行予定についていかがでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。事務局進行予定に対する質疑を打ち切り

ます。

次に教育事業全般について、ご質問あるいはご意見等があればお願いいたします。

○足立委員 手短に。本当は来月にでも申し上げようかなと思っていたのですが、議案が立て込んでくると私が話をするのは余計なことなので、きょうのほうがいいかなと思って、ちょっとお話しさせていただきます。

何の話かといいますと、プログラミング教育のことです。実は先月、前々から興味があったのですが、自分もちょっとプログラミングを勉強したいかなと思って、オンラインスクールというのを申し込んだのです。それは8週間のコースで、まだ実は終わっていないのです。どういうものかといいますと、基本的に自分でテキストを使って勉強するのですが、週に2回、「メンター」と呼ばれる指導してくれる、これは現役のエンジニアの方なのですが、メンターと呼ばれる方とビデオチャット、インターネットを介して面談というか、質疑応答というか、そういうことをしたりします。あとは、スラックという、LINEみたいなものなのですが、テキストで質問を投げると24時間以内に質問の回答が返ってくる。同じメンターの方がやってくれるのですが、そういうのをちょっと勉強して、その学習の過程で得た気づきとかそういうものを、この場にはそういうプログラミング専門家の方がいないので、私のような中年になってから初めてこういうものを学ぶと一体どういうことがわかるのかなという気づきを申し上げるだけでも意味があるかなと思いましたので、余計なことですが、お話しさせていただきます。

そのオンラインスクールというのは、私は最初、ビデオで授業を聞いてそこで勉強していくものだと思っていたのですが、ふたを開けてみると、テキストがあって基本的にそれで自分で勉強しなさいということでした。わか

らないところは質問をするか、面談のときにいろいろ聞いてくださいとのことでした。随分手抜きだなどと思って、料金がうちの保育園の新人の先生の月の給料が全部なくなるくらいの高額なものだったので、これはだまされたかなと思いつながらやり始めたのですけれども、やっけていて気づいたことは、なるほどこれが一番効果的なのだなと思いました。要するに、何か講義を聞いて教えてもらってやるというよりも、自分で勉強して行って、わからないところを聞いていくという、主体的な自学自習みたいものが、こういう勉強をする上ですごく効果的だと思いました。おそらく、そのスクールの会社もそのことをよくわかっていて、そういう学習の組み方をしているのだなと感じました。やってみて初めて気づいたというのですかね。なるほど自分も講義を聞いただけだと絶対わからないなと思いました。自分でやっけて行って、わからないところをどんどん聞いていく、わからないことを聞ける人がそばにいるという環境にあることがいいのだと、やっけていて気づいた大きなことの1つですね。

もう1つ、気づいたことがあります。試行錯誤するということですかね。プログラミングで「サンプルコード」と言われているものを自分で打ち込んで、それを動かしたりするのですけれども、それを自分なりにちょっと改造してみたりとか、何かを変えてみたりしていろいろとやるのですね。あるいは、教えてもらっていないですから、手持ちの知識を駆使して何とか動くものをつくらうとしたりするのです。そうするとすごく思考錯誤をしなければいけない。初めから正解というものにたどり着けないですし、正解というのが何通りもあるような中で、どうあつたら自分が目的とすることができるのかというのを、少ない手持ちの知識の中から失敗をしながらやっけて行って、その結果、正解の中の1つにたどり着くことができる。この試行錯誤の大切さというのですかね。自分から進んで学んでいくということと、試行錯誤を積み重ねる。これは実はプログラミングだけではなくて、学ぶという営みの中でもすごく大事なことな

のだらうと思います。よくプログラミング教育というと、論理的な思考能力を養うみたいなことが言われると思うのですが、確かにそういう面もありますが、初心者でこういうことをやってみて気づいたことは、論理的な思考能力ということよりも、むしろ主体的に学ぶということと、試行錯誤していく大切さがすごく大きかったなと思って、そういう意味でもプログラミング教育を学校でやっていくことは意味があるのかなと思いました。

あとはもう少し狭い話で言うと、プログラミングのスキルそのものが確かに身につきました。これは本当に知っているのと知らないのでは大違いだなということを思いました。

私が社会人になったばかりのころというのは、まだ Windows 3.1 も出ていなくて MS-DOS、実際にコマンドを打ち込まないと動かないような時代でした、おそらく皆さんもそういう時代を経てきたと思うのですけれども、今は事務をやる仕事だと、エクセルやワードを使うことが当たり前になっています。おそらく今の子供たちが大人になるころというのは、簡単なプログラミングの知識というのが、もしかしたら社会人としての必須になっているのかなと思います。そういう意味でもそういうスキルを身につける機会を公教育の中で平等に得るというのは意味があることなのかなと思いました。余計なお話でしたけれども、ちょっとお話ししたくて披露させていただきました。

○倉部教育長 ありがとうございます。とても有益な話だったと思いますし、論理的なところばかりを学習指導要領上書いていて、そちらばかりの教育に走りがちなところを、今はそうではないのだと。逆に言うと気づかされたという部分が大きいと思うのですけれども、実際に学校現場で、まだ子供たちではなくて、先生たちが今試行錯誤している状況だと思うのですが、その辺の状況をちょっとわかる範囲で説明できますか。

○戸塚指導課長 夏の研修で先生方向けにプログラミング教育の研修を昨年と

同様、今年も行ったのですが、今、足立委員の話を聞きながら、先ほどうちの指導主事と話していたこととすごく通じるなと思いました。スキルもすごく大事なのですが、プログラミング教育は、そのスキルを身につけるためだけではなく、例えば、研修会の中でパソコンを使わずに相手が指示どおりの形になるか、また、実際にパソコンを使って、自分が指示したように図形ができるかという2つの研修をしました。そのなかで、きちんと相手に伝えることができないと、思ったとおりの形にならないこと、描きたかった図形が思ったとおりにいかないときに、どうして失敗したのかを考えることがすごく大事であって、パソコンを使う技術を身につけることだけが大切なことではないという話をしていたので、そういうものを先生たちが今回の研修で実際に体験して、主体的な学びや試行錯誤することの重要性をいろいろな授業の中で、展開できるようになっていくといいのかなと、お話を聞きながら思いました。

パソコンの技術が長けている先生と、そうでない先生がいたりして、私も余り得意なほうではないので、私みたいに自分で逃げてしまうような先生たちもベテランの先生の中にもいたりとか、若くても苦手な人がいますので、本当に今のお話を聞きながら、先生たちがまず試行錯誤して、こういうものが大事だということがわかって授業をやって、さらにスキルが身につけられるようなものが学校でできるように、我々も勉強しながらやっていきたいと思いました。

感想みたいになってしまいますけれども、あと iPad 等も少しずつ入れていただいているので、それが本当に授業でうまく使えるように、必要なところで必要なときに使えるようになっていくといいかなと、ICT教育支援員もいますので、我々も研修を積みながらやっていきたいと思っております。

○倉部教育長 ありがとうございます。先日、皆さんも一緒に参加していただいた総合教育会議で、我孫子中学校のほうから市長に対してのプレゼンを行っていただきました。市長も非常に感銘を受けて、これを待っていたのだという

感想を受けました。1つの学校の取り組みが契機となって、1つの成果につながっていけば良いと思います。それによって、ほかの学校に刺激を与えれば、また違う取り組みの提案が出てくるような、きっかけになってくれること願っています。ぜひそれも含めて、子供たちは多分、与えれば私たちが心配する以上のことをちゃんとやるのではないかという期待感もありますし、それにはiPadがもっと当たり前に見えるような学習環境があれば、一気に進むのではないかなという思いもありますし、いろいろ今進めているインターネット上の問題とか、ICT環境を整えていくというのは、今着々と我孫子の中で進んでいますし、他の市からもいろいろ興味を持って視察にも来られているぐらいですから、ぜひ一緒になって成果を出せばいいかなと思いますので、その時々で、いろいろな途中経過を委員の皆さんにも報告していただきたいと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。ありがとうございました。

今の件でも結構ですし、それ以外に教育全般について何か御意見等ありますでしょうか。——よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 特にないようですので、以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 以上で令和元年第8回定例教育委員会を終了いたします。

午後2時36分閉会